

平成30年4月定例教育委員会会議録

1 日 時

平成30年4月26日（木）午後2時00分から午後3時20分まで

2 場 所

唐津市役所大手口別館6階会議室

3 出席者

(1) 教育長

栗原宣康

(2) 教育委員

富永祐司、森田淳、坂本恭子、宮崎美和

(3) 事務局

教育部長 保利守男、教育副部長 中尾修二、教育副部長 栗原達也、学校教育課長 佐々木講吉、学校支援課長 櫻井実規子、東部学校給食センター所長 荒田良二、近代図書館長 船岡広子、幼稚園長 加茂律子、浜玉市民センター総務教育課長 内山茂昭、厳木市民センター総務教育課長 草場忠治、相知市民センター総務教育課長 黒木寿昭、北波多市民センター総務教育課係長 溝口郁丞、肥前市民センター総務教育課長 草場靖親、鎮西市民センター総務教育課係長 山下裕巧、呼子市民センター総務教育課長 野上安国、七山市民センター総務教育課長 鬼木和俊、教育総務課係長 神田仁、教育総務課係長 岡田和幸、教育総務課主査 古賀幹子

4 議 題

(1) 議案

議案第14号 唐津市いじめ防止基本方針の改定について

【原案どおり可決】

議案第15号 唐津市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱について

【原案どおり可決】

議案第16号 唐津市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について

【原案どおり可決】

議案第17号 唐津市社会教育委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第18号 唐津市青少年支援センター運営協議会委員の解嘱及び委嘱
について

【原案どおり可決】

(2) 報告事項

- ① 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の実施方針について
- ② 旧唐津市立加部島小学校施設の一部管理替えについて

(3) 報告事項

- ① 教育長報告
- ② 各課報告事項
 - ・唐津市立唐津幼稚園あり方専門委員会の結果について
 - ・古唐津 もうひとつの桃山 関連イベントについて
 - ・子どもの日関連イベントについて
 - ・第12回K i n t o市民美術祭について
 - ・共催及び後援について
- ③ その他
 - ・教育委員会行事予定
 - ・小中学校の秋の運動会・体育大会の日程について

【定例会】

午後2時00分 開会を告げる。

栗原教育長は、本日の会議録署名委員として冨永委員を指名した。

栗原教育長は、前回の定例会の会議録について会議に諮り、委員会はこれを承認した。

○教育長（栗原宣康君）

皆さんこんにちは。教育委員の皆さん方にはお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、4月の定例教育委員会を始めさせていただきたいと思います。

議案第14号について学校教育課より説明をお願いします。

○学校教育課長（佐々木講吉君）

学校教育課です。議案第14号唐津市いじめ防止基本方針の改定について御説明申し上げます。

議案集の1ページをご覧ください。

提案理由でございますが、佐賀県いじめ防止基本方針が平成30年3月に改定されたものを参酌し、いじめ重大事態の対応について、より効果的に推進するため、唐津市いじめ防止基本方針を改定するものでございます。

2ページ、3ページをご覧ください。新旧対照表を載せております。

改定するものとしては、文言や、てにをは等が主でございます。大きなところでは、5ページをご覧ください。

5ページの最下段、P8のところですが、不登校重大事態に係る調査の指針から、いじめの重大事態の調査に関するガイドラインというように改められまして、不登校も含めて、いじめ全てを重大事案と捉えて、それを調査するためのガイドラインとなりました。

いじめの解消を1カ月間見るということにしていましたが、1カ月間では足りないというところから、3カ月間見なさいというようにガイドラインが変わったところが大きな見直しでございます。

その他は、アンダーラインを引いているように、保護者が家庭に変わったり、学校評価にいじめの項目を入れなさいというのが改定されたところでございま

す。

以上のことを踏まえていただいて、御審議いただきたいと思っているところです。よろしくお願いいたします。

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様から御意見、質問がございましたらお願いいたします。

○教育委員（冨永祐司君）

提案どおりで、いいと思います。

○教育長（栗原宣康君）

委員の皆様、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課長（佐々木講吉君）

補足をさせていただいていいでしょうか。

○教育長（栗原宣康君）

はい。

○学校教育課長（佐々木講吉君）

改定とは関係ありませんが、いじめ防止の基本方針というのは、国のガイドラインがありまして、それを県が受けて、県の分を唐津市が受けまして、唐津市の分を今回御審議いただきました。今後、学校現場に下ろしまして、各学校の実態に応じた形で、各学校で作成することにしております。

具体的にいじめが発生しましたら、今は、定義がいじめられたほうがいじめと言えば全部いじめというようなところもございます。

保護者や本人から言われたことや、されたことを報告しています。覚知の段階でございます。覚知をすれば、学校はそれについてきちんと聞き取りをしまして、次に認知ということになります。覚知、認知は両方とも学校教育課に報告が上がって参ります。そこで、適切な対応をするよう指示をして、解決に至っているところです。

前回の教育委員会でもお話ししましたように、上がってくる件数がこれまで少なかったから、全国的に少ないという御指摘が国のほうからありまして、細

かいところでも対応しましょう。アンテナを張ってしっかり見ましょうということで、現場も忙しい中、小まめに報告が上がってくるようになりました。おかげで重大事態に至るケースはほとんどありませんでした。

昨年1件だけ、玉島小学校の6年生による事案が、いじめとついたわけではありませんでしたが、なかなかすっきり解決しなかったということで、3カ月以上かかったものですから市長のほうへ報告しております。その子たちは無事中学校に進学をしまして、今のところ、これといった報告はいただいていないので、中学校生活に入ってくれたのかなと思っているところです。そういった状況でございます。

○教育長（栗原宣康君）

それでは、新たないじめ防止基本方針について御承認いただいたということで、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

次に参ります。議案第15号から18号につきましては、人事議案でございますので、秘密会議でお願いしたいと思います。

続いて、協議事項に参ります。教育総務課から御説明をお願いします。

○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。議案集の6ページをお願いいたします。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の実施方針についてということで、毎年実施しているものでございますが、今年度行う点検・評価の実施方針について協議をお願いします。

7ページをお願いします。この点検・評価をする制度的な意義を載せております。この点検及び評価につきましては、1制度の概要に書いているとおりでございますが、事務局といたしましても、点検・評価を踏まえて次年度の施策の展開に繋げていこうと考えております。

点検・評価の項目といたしましては、大きく2つございます。

1つは、唐津市教育委員会の活動状況ということで、教育委員の方々の年間の活動状況、併せまして教育委員会の会議運営の状況、活動状況につきまして報告するようになっております。

もう1つは、平成29年度唐津市の教育の基本方針の中で、1番目の知・

徳・体の調和のとれた生きる力の育成から、6番目の人権尊重の精神を育成する学校・社会教育の推進まで6つの大きな重点項目を掲げまして、それぞれに予算措置をいたしまして、事業を行っております。その状況について点検・評価をするものでございます。

議案集の8ページをお願いいたします。実施方法ということでフロー図を載せておりますが、教育委員会部局の唐津市教育の基本方針の重点目標6項目と、唐津市教育大綱の基本施策6項目は、リンクしてございまして、その6項目を実現するために、第2次唐津市総合計画の単位施策12項目とそれ以外の予算に計上している主な事業がございまして、従いまして、平成29年度に実施した各事業を6項目に振り分け、それぞれの事業を点検・評価して、積み上げることにより、最終的に6つの項目を点検・評価することとしています。

点検・評価の手順でございまして、1から5まで四角で囲んでおります。事業の流れとしまして、1番目は自己評価の実施、2番目が有識者からの意見聴取、3番目に、改善策の検討ということで、有識者の方からの評価を踏まえた上で、教育委員会においての改善策の検討をいたします。4番目に市議会への提出、そして5番目に評価結果の公表ということで、9月の定例市議会に提出をし、その後、市民の方へ公表いたします。公表の方法といたしましては、市役所の掲示板や事務室の窓口、またホームページも活用して行う予定でございまして。

9から10ページにつきましてはただいま申し上げましたフローチャートの詳しい説明でございまして。

11ページには、先程申しました点検・評価のスケジュールを載せております。最終的に8月の教育委員会で協議していただく予定で事務を進めていきたいと思っております。

以上が今年度行う、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の実施方針でございまして。

御協議の程、よろしくをお願いいたします。

○教育長（栗原宣康君）

これまでのやり方と今年度と、変わったところは、何かありますか。

○教育総務課長（栗原達也君）

従来のやり方と同じです。

○教育長（栗原宣康君）

分かりました。

教育委員さん方から御意見や御質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、今年度もよろしくお願いいたします。

それでは、次に参りたいと思います。

旧唐津市立加部島小学校施設の一部管理替えについて、呼子市民センターより御説明をお願いします。

○呼子市民センター総務教育課長（野上安国君）

呼子市民センターです。旧唐津市立加部島小学校施設の一部管理替えについてご説明申し上げます。

議案集の12ページをご覧ください。

加部島小学校は、平成23年4月に呼子小学校と統合し廃校となりました。当校を、原子力災害時において、その地理的条件から即時避難ができなかった場合に住民等が一時的に避難できる施設として利用する予定でございます。原子力災害対策施設整備事業による放射性物質への対策工事が平成30年度に実施されます。今後は原子力防災施設として利用され、用途が変更されることから、総務部危機管理防災課へ施設の管理替えを行うものでございます。

校舎の概要ですけど、校舎は鉄筋コンクリート造りの3階建てで、延べ床面積が1,926平米です。

建築面積ですけど、底地部分は878平方メートルになっています。

危機管理防災課が行います工事ですけれども、今年度の当初協議していたときは10月からということでしたが、先日、7月から着工予定ということで連絡を受けましたので、今後のこちらは、6月に管理替えの事務手続きを行い、その分を再度、定例教育委員会に諮りたいと思っております。

以上、御協議の程よろしくお願いいたします。

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

加部島小学校施設の管理替えについて、何か御質問、御意見はございませんか。

○教育委員（冨永祐司君）

問題ないと思います。

○教育長（栗原宣康君）

それでは、このとおりに進めていただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、次に報告事項に参りたいと思います。

最初は教育長報告になっております。別紙1枚、紙を用意しておりますので、ご覧いただけたらと思います。

4月9日に第1回の校長・統括事務長会を行いました。校長会は毎月行いますが、16日に第1回の教頭・主幹教諭・事務長会を行いました。今年度は新しく校長になられたのが、小学校が9名、中学校が1名です。新しく教頭になられたのは、小学校が10名、中学校が2人です。

校長会を実施しまして、それぞれ校長先生と教頭先生のコンビネーションで学校マネジメントを進めていただきたいという話や、職員全体でまとまった進め方をしてほしいということ。それから、保護者を含めた関係機関との連携について一層尽力していただくようなこととお話ししたところです。

19日、第1回の管内教育長会がございました。この管内というのは、括弧に書いておりますが、西部教育事務所、或いは北部支所を合わせた、以前で言いますと唐松地区、それから杵西地区、藤津地区の3地区ですね。

その中で、現地機関の使命として、管内をよく知ってニーズと課題に対応していきたいということ。それから、教育施策について、ぜひ学校で有効な活用となるように努めていきたいという所長の話があったところです。唐津市教育委員会としても全く同じだなと思いながら、話を聞いたところです。

人事異動の概要や反省について、今年度の重点について説明がありました。

学校支援として、学力向上班、生活指導班、学校経営班と3つのチームを作って、各学校の要望に応じていきたいという説明がありました。それぞれ工夫した取り組みをされておりますので、各学校には十分時間を捉えて、活用の機会を設けてもらえたらというふうに思ったところです。

23日、佐賀県教育委員会・市町教育委員会協働会議に冨永委員さんと出席をいたしました。まず、県の教育委員会の組織改正について説明がありました。余り大きな変更はあっておりません。高校の再編整備室が教育振興課のほうに移管したということ。文化財課の担当の名称が変わったということがあったところです。

その後、各課の主要事項の説明がありまして、幾つかお話をしたいと思いますが、1つは、教育総務課から新しい教育情報システムの整備事業を進めていますということでした。本年度に全ての市町教委を訪問して、31年度にシステムの更新を行う予定ですという説明でした。

2つ目は、教育振興課からです。県立高等学校入学者選抜制度検討委員会を進めていますということです。現在の入学者選抜のやり方については、平成24年度からスタートしたんですけれども、それについて、30年、本年の8月ごろに新しい制度を決定したいという説明がありました。

今日の新聞に、今年の県立高等学校入学者選抜の日程が決まりましたというのが載っておりました。かなり早い日程でしたので、中学校3年生の授業時数の確保がちょっと苦しいのかなと思って新聞を見たところでした。

3番目は、教職員課です。教職員課からは幾つか話がありました。教職員の健康管理、或いは学校における働き方改革についての話がありました。長時間労働の解消、業務改善と環境整備に向けた取り組み、より適正な部活動のあり方、健康管理体制の充実という4つの柱を立てて、働き方改革に取り組みたいという話でした。

4つ目は、特別支援教育室からの話でした。既に御承知と思いますが、児童心理治療施設が唐津市のほうに開設されましたけど、新たに特別支援学校の好学舎分校が開校して、連携をしながら取り組みを進めたいという説明でした。

5番目は、学校教育課からの説明です。「さがを誇りに思う教育推進事業」

を27年度から進めておられますが、中学生用の補助教材を今年の夏に間に合わせたいという説明でした。

また、全国高等学校総合文化祭推進室ですけれども、今まで準備室と言っておりましたが、今年から推進室と名前が変わりました。来年が開催の予定ですが、今年8月3日にプレ大会パレード、そして、10月14日にプレ総合開会式を行うという説明でした。来年の総文祭には、唐津の近代図書館もサテライト会場になっているというふうに聞いているところです。

以上、教育長報告を終わります。

御質問がございましたお願いします。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、次に参ります。

各課報告事ですが、唐津幼稚園からお願いいたします。

○幼稚園長（加茂律子君）

唐津幼稚園です。唐津市立唐津幼稚園あり方専門委員会の結果について報告をさせていただきます。

別冊資料をご覧ください。

平成28年度に唐津市立唐津幼稚園あり方検討委員会が行われました。その結果を踏まえて、昨年、平成29年度に唐津市立唐津幼稚園あり方専門委員会が8月、11月、3月の3回開催されました。

専門委員会では、幼児教育や特別支援教育の問題を議論していく中で、唐津市の全ての子どもたちが、出生時から大人になるまでの一貫した教育・支援の施策を策定する必要があるとの意見が多く出されました。そして、唐津幼稚園のあり方を通して、唐津市全体の教育のあり方が問われているとの見解に至りました。すなわち、唐津市の全ての子どもたちの健全育成を目指した保健福祉、教育の仕組みづくりが急務であり、そのためには教育委員会と保健福祉部の連携が重要になるということです。そして、その枠組みの中において、唐津幼稚園が果たすべき役割があるとの結論を得ました。

その後の、いろいろな子どもたちの問題や課題も、そういう一貫した教育を

することによって何か解決の糸口が見えるのではないかというようなことです。

資料の3ページをご覧ください。

3ページから5ページまで、専門委員会の概要を載せています。

まず、実施日及び内容について。2番目に6名の外部委員の氏名。この6名の皆様に論議をしていただきました。

3番目、主な意見交換の内容、これについても、いろいろな意見が出されたということで、どんな意見かという主なものを載せてありますので、後程ご覧ください。

それから、4ページにその意見内容です。

5ページをご覧ください。

5ページに委員会の結論とありますので、そこを読ませていただきたいと思います。

唐津市全体の教育のあり方について、検討していただきたい。その中に唐津市幼稚園の位置付けが必要である。

唐津市の幼児全体の利益になる形で、唐津幼稚園をどのように活かしていくのかを全庁的に協議を行っていただきたい。

教育委員会と保健福祉部が連携できる体制、組織づくりが必要である。

上記の視点を受けて、唐津幼稚園のあり方基本方針（案）を策定し、市の幼児教育のモデルとして進めていく。唐津市・教育委員会がリーダーシップをとり、できるところから取り組んでいただきたいというような報告です。

添付資料としまして、唐津市立唐津幼稚園のあり方についての基本方針が6ページから10ページに載せられています。

それから、別紙資料として、唐津市の子どもの教育の現状と唐津幼稚園の役割、最後の11ページに載せられています。

7ページをご覧ください。

あり方専門委員会で検討していただいた基本方針案になります。

唐津幼稚園が公立幼稚園として果たしていくべき役割として大きく2つ上げられていて、1つ目は7ページの1にあります教育の重点と地域における幼児教育の中核としての役割、2つ目は、次の8ページの2にあります、インク

ルーシブ教育の幼児期の拠点としての役割です。この大きな2つの役割が示されました。

その中で特に幼児教育に関わる全ての教職員の実践力の向上や専門性の向上のために、唐津市教育委員会の指導のもと、役割を果たして欲しいというようなことが上げられています。

11ページをご覧ください。

唐津市の子ども教育の現状と唐津幼稚園の役割というフローですが、唐津市内の乳幼児、小・中学校、それから特別支援学校の小中学部に通学しているとか、通っている子どもたちの学校数、人数、それから、そのうちの支援を要する子どもさんの数、そういうものをまとめて、どのように将来見据えたことをしていくかというような概要が載せてあります。

以上、専門委員会の結果について報告をさせていただきます。

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

今の説明、或いは基本方針、それから、最後の別紙資料まで含めまして、何か御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

○教育委員（坂本恭子君）

この別添資料は、下のほうに平成29年5月1日現在ということなので、数字的に増えている可能性もあるわけですね。

○教育長（栗原宣康君）

そうですね。

○教育委員（坂本恭子君）

ここで公立幼稚園の支援を要する子の数が19人で、（診断あり10）と書いてありますよね。19人のうち10の方が診断を受けられているんですかね。

○幼稚園長（加茂律子君）

その診断というのは、例えば、自閉症スペクトラムだったり、知的障害であったりというような、そういう診断がある方の数です。9人が受けていないということなんですが、保護者さんと連携をとりながら、実際は支援をしてい

る子どもさんなんですけど、まだそういう診断を受けるに至っていないお子さんが9名はいらっしゃるということですね。

ただ、私立幼稚園や認定こども園から上がってきている数、例えば、私立幼稚園、認定こども園の園児数が下の段に、うち支援を要する子の数25人と書いてありますよね。その数は、多分診断があるお子さんの数だと思いますので、19人という数は、その数と同じように比べられないなと思って、診断を受けている子の数は10人ですというのを明記させていただきました。

○教育委員（坂本恭子君）

保護者の方に診断を受けたほうがいいですよというふうに園のほうから促しても、そちらに踏み切られないという保護者の方もたくさんいらっしゃるわけですね。

○幼稚園長（加茂律子君）

はい。

○教育委員（坂本恭子君）

これは幼稚園に限らず、小学校に上がっても、そういう保護者の方がたくさんいらっしゃると思いますので、8ページ、9ページにもありますけれども、保護者の支援のあり方ですね。保護者の方とも理解を深めることが大切だなと、私もよく周りの方とお話しして、そういうふうに思います。共に学ぶ姿勢も大切ですね。関係機関との連携を、幼稚園だけではなくて、医療機関とかですね。

○幼稚園長（加茂律子君）

民間の幼稚園や、こども園、保育園にもたくさんいらっしゃると思います。保護者の合意形成がなされている場合はまだ一緒にできるんですけど、合意形成がない、うちで言えば9名の子どもたちというのは、なかなか支援をどうしていくのかというのは、課題になっています。

○教育委員（坂本恭子君）

やっぱりなるべく早くですね。

○幼稚園長（加茂律子君）

ここに上げられている数ではなく、隠れているというか、先生たちが物すご

く頑張られているという子どもたちがたくさんいると思います。

○教育委員（坂本恭子君）

すみません。ありがとうございました。

○教育長（栗原宣康君）

小学校でも中学校でもこのことは同じ課題で、もっと早く医療機関や関係機関に繋がっていたら、もう少し違った子どもになれたかと思うことはよくあります。

○幼稚園長（加茂律子君）

付け加えさせてもらいますと、小・中学校では児童数179名になっています。6年間で179人支援を要する子がいるということは、幼児期、6年間で恐らくそれくらいの数はいるということです。

○教育委員（坂本恭子君）

そうですね。

○幼稚園長（加茂律子君）

今上げられている子どもの数はそれには達していません。幼児期はまだまだ未分化な時期なので、まだ分からないというところも多いのですが、もっと手を差し伸べてあげないといけない子がたくさんいるのかなというふうに、思います。

○教育長（栗原宣康君）

ほかに御質問等はございませんか。

○教育委員（富永祐司君）

委員会の構成ですけど、外部委員とありますが、外部委員さんのほかに委員さんがいらっしゃるんですか。

○幼稚園長（加茂律子君）

外部委員さんが6名で、3ページに上げられています6名の方で論議をしていただきました。

○教育長（栗原宣康君）

この方々がこの委員会のメンバー全てということですね。

○幼稚園長（加茂律子君）

はい、そうです。

○教育委員（富永祐司君）

いや、外部委員と書いてあるので、他にもいらっしゃるかと思いました。

○幼稚園長（加茂律子君）

教育委員会や市の職員ではないということで外部委員です。

○教育委員（富永祐司君）

専門委員会の委員さんは、この6名ということですね。

○幼稚園長（加茂律子君）

専門委員会の皆さんがこの方々ということですよ。そのほかに、市のほうから部長、教育総務課長、学校教育課長、私、幼稚園からも2、3名入っています。

○教育総務課長（栗原達也君）

そこは委員じゃなくて事務局です。委員さんはこの6名です。

○幼稚園長（加茂律子君）

はい。事務局ですね。

○教育委員（富永祐司君）

外部委員だから、外部委員のほかにいらっしゃるのかなと思ったわけです。

○教育委員（坂本恭子君）

今、思ったんですけど、この委員さんの中に唐津幼稚園の保護者の方を交えるのは、差し障りがあるんですか。

○幼稚園長（加茂律子君）

平成28年度の唐津市立唐津幼稚園あり方検討委員会では、委員の中に保護者は入られていませんでしたが、同窓会の方が入られていました。そのときのメンバーは、小学校の校長代表の方、PTA連合会の代表の方、地域の代表の方でした。今回は平成28年度の検討委員会の中では、幼児教育についてとか特別支援教育について論議がなされました。しかし、これ以上、専門的な内容については、その委員の中で検討していくのはなかなか無理があるだろうと。それ以上、突っ込んだ話し合いはできないだろうということで、今後、存続について論議するにしても、もう少し専門的な幼児教育の中身の問題や、インクルーシブ教育等について専門的に論議していくことが必要ということで専門委

員会の委員が選任されました。

○教育委員（坂本恭子君）

分かりました。

○教育総務課長（栗原達也君）

平成28年度の委員会では、端的に言えば、存続するか、廃止をするか、民間移譲するか、それを決めていただくという会議でした。そして、平成28年度の委員のメンバーでは、中身をどのような内容で唐津幼稚園を続けていくのかということは審議できないと。そこは専門家の皆様に、どういう立ち位置、またやり方で唐津幼稚園を続けていくのか専門的な議論をして、その上で継続という結論になりましたので、平成29年度の3回の会議というのは、どのようなスタンスでいくのか、どのような内容でいくのかというのを専門的に議論していただいたということです。

今申しましたとおり、位置付けが必要とか、5ページのほうで結論があったんですけれども、全体の教育の中の幼稚園の位置付けとか、どのように生かしていくのか。また、教育委員会と保健福祉部と、横断的にこの内容を協議しながら、今年度1年かけて、どのような立ち位置、またやり方で唐津幼稚園を運営していくのかというのを議論していきたいと思っております。

以上です。

○教育長（栗原宣康君）

平成28年度の会を受けて検討を継続していくということで、平成29年度、この形になったということですね。

○教育総務課長（栗原達也君）

詳しい専門的な中身を検討していただくと。

○教育長（栗原宣康君）

そして、今年度は保健福祉部と連携して検討を続けるということですね。

○教育総務課長（栗原達也君）

はい。

○教育長（栗原宣康君）

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、本年度、先程、話があったような形で、さらに深く進めて参りたいと思います。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

それでは、次に参ります。

近代図書館から3つあるようです。続けてお願いします。

○近代図書館長（船岡広子君）

近代図書館です。チラシをご覧ください。

古唐津もうひとつの桃山ということで、4月13日にオープンいたしまして、11日間で入館くださった方が約650名でした。雨の日が2日ほどありましたので、その日は20人くらいでした。連休には1日で600人入るというケースもございますので、これから入場者が増えてくるのではないかと思います。各新聞社様から取り上げていただいて、今日も西日本新聞と佐賀新聞に掲載されていたというようなことも聞いておりますので、広い範囲で遠方からの来客があると思います。お越しいただく際には、今のうちのほうがゆっくり見ていただけるとと思いますので、どうぞお越してください。

次に参ります。

子どもの日関連イベントについてでございますけれども、5月5日は近代図書館へ行こうということで開催します。相知図書館はおはなし会ということで、4月28日に相知図書館で開催します。それぞれプログラムを組んで行っています。こちらのほうも、5月の連休中にお子様を連れてどこに行こうか、遠いところには行きづらいという方もあって、毎年、結構入館してくださるようです。特に人形劇のマーシャとくまは、好評です。

次に、K i n t o 市民美術祭です。こちらは5月17日から27日がオープニングの特別展です。その後、市内の美術団体が日頃の活動の成果を発表される機会として設けているものですから、大体5日ずつで分かれていきます。ゴ

タール会という絵画の会が5月30日から6月3日の5日間、和美会という絵画の団体が6月6日から10日まで、書で唐津篆美会が6月13日から17日、書で一玄社が6月20日から6月24日の5日間、写真でからつ写友会が一番最後の展示で、6月27日から7月1日となっております。

こちらは、入場無料で、会の発表の場にさせていただこうということですので、こちらもどんどんお越しいただければと思います。

以上です。

○教育長（栗原宣康君）

K i n t o 市民美術祭のチラシに書いてある会期というのは、オープニング特別展の日程ですね。

○近代図書館長（船岡広子君）

そうです。

○教育長（栗原宣康君）

御質問、ご意見はありませんか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。先へ参りたいと思います。

共催と後援についてお願いします。

○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。共催及び後援についてでございます。17ページをお願いいたします。

今回お示しいたします共催及び後援につきましては、共催が3件、後援8件、合計の11件となっております。

行事名、主催者名等、詳細につきましては、一覧表のほうをご覧くださいと思います。

以上です。

○教育長（栗原宣康君）

共催と後援について、何か御質問、御意見等ございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

次に参ります。行事予定について、教育総務課からお願いします。

○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。18ページをお願いいたします。

教育委員会行事予定については記載のとおりでございます。

以上です。

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

○教育委員（富永祐司君）

25日の第49回総会並びに研修会と書いてあるのは、これは何の総会ですか。

○教育副部長（中尾修二君）

すみません。これは佐同協です。

○教育長（栗原宣康君）

では、次の協議に参ります。

小中学校運動会・体育大会について学校教育課からお願いします。

○学校教育課長（佐々木講吉君）

学校教育課です。議案集19ページをご覧ください。

春の運動会・体育大会については、5月19日、20日、26日、27日に開催予定です。本日、出席についてお伺いできればありがたいなと思っております。

それから、学校訪問計画です。これは、本日の午前中やっと固まったものですから別紙にさせていただいております。今日は6番の佐志中の7月6日までの希望をお伺いできればと思っております。

運動会につきましては、委員さん方では全部は埋まりませんので、空いた部分は事務局のほうで埋めたいと思っております。

学校訪問は、学校教育課を中心に入りますが、ぜひ1校は参加いただければ、学校もありがたいのではないかなと思っております。

学校訪問につきましては、例えば、教育総務課や、学校支援課、市民センターからも御出席いただければありがたいと思っています。

○教育委員（冨永祐司君）

学校訪問は、5月の定例教育委員会するときでもいいですか。

○学校教育課長（佐々木講吉君）

そうですね。次回でも大丈夫です。

○教育長（栗原宣康君）

学校訪問は、次回にしましょうか。行事が大分先で、まだ予定がたたないでしょうからね。

運動会、体育大会の出席については、後でまた皆さんと協議させていただきたいと思います。

ほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

次回の定例教育委員会の日程です。5月24日木曜日14時から、この場所で開催をしたいと思います。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

では、全体会をここで閉じさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。